

僕らは今のなかで

受験時、役立ったもの

ある雑誌に受験時に持って行って役立ったものが記されておりました。参考にされてはどうでしょうか。

参考書を試験直前に読んだからといって、大きなプラスの影響はないと思いますが、気持ちを落ち着かせるために持参し、目を通すということは大切かもしれません。特に公立高校の受検では、休み時間が20分もありますし、昼食休憩は60分もあります。

- 理・社を中心に、要点や間違えた問題をまとめたノート。(札幌東)
- 理・社の間違えた問題をまとめたノート。(札幌西)
- 腕時計。(札幌南、旭川東、北見北斗)
- 間違えた問題や、うろ覚えだった事柄をまとめたノート。(札幌北)
- 数学と社会、理科の自作のノート。(札幌旭丘)
- 使い慣れた文房具や、前置詞の使い方などがまとまった英語のプリント、理・社の1問1答式のテキスト。(札幌国際情報普通科)
- 理・社の暗記が必要な語句をまとめた参考書。(札幌光星ステラコース)
- 模擬面接を参考に自分の考えをまとめたノート。(立命館慶祥SPコース)
- 腕時計。30分くらい余裕を持って試験会場に向かった。(函館中部)
- 使い慣れた文房具。(函館ラ・サール)
- 使い捨てカイロ。(小樽潮陵)
- 理・社の副教材「ワーク」。(滝川理数科)
- シャープペンシル2本に替え芯、消しゴムも2個用意した。使い慣れた文房具に触れて無心になれた。(室蘭栄)

- 腕時計と使い慣れた筆記用具。(帯広柏葉)
- 昼食後も集中力を保つために緑茶を飲んだ。(釧路湖陵理数科)

理科と社会に関するものを回答された方が多いようです。
ただし、公立高校の受検では、最終検査教科が英語ですので、英語に関するものも持参した方が良いと考えます。



@coffee break コーヒーカップとソーサー

コーヒーカップとセットになっている受け皿を『ソーサー』といいます。

喫茶店やカフェなどでは、砂糖やクリーム、それらをかき混ぜるためのスプーンが、のせてあったりしますね。

さて、中世のヨーロッパでは、コーヒーや紅茶をカップからソーサーに移しかえて飲んでいたのでご存じですか。理由は、紅茶やコーヒーの温度を下げるためだそうです。(ソーサーの方が空気とふれ合う面積が大きくなるため、温度が下がりやすくなります。)

しかし、こうした飲み方は「無作法な飲み方だ。」と非難されるようになり、カップの方に口をつけて飲む、現在のスタイルへと変わっていったといえます。

こうした歴史があるため、今でもコーヒーカップとソーサーの容積を同じにしているメーカーがあるといえます。試しにご家庭にあるコーヒーカップに水をたっぷり入れ、その水をソーサーに移しかえてみてください。ピッタリ同じというものも結構あるものですよ。(私の経験では、いわゆるブランド品とよばれるものほど、容積を同じにしているようです。)

